

松本翔は取り組みます!



令和2年度渋谷区予算事業概要

令和2年度当初予算は、「子育て支援・教育・福祉施策の充実」「新たな価値や文化、コミュニティを想像する街づくりの推進」「安全・安心なまちづくりと快適な生活環境の整備」を重点課題とし、「未来への投資」として積極的な予算措置が図られました。その結果、総額1,052億4,900万円(対前年13.9%増)と過去最大の予算規模となっています。本特集号では、次の8項目について解説します。



子育て 待機児童対策の拡充

賃借物件を活用した保育施設への賃借料補助の拡充など、あらゆる手法を用いて、地域バランスを考慮した保育施設整備のスピードをさらに加速させます。令和二年度は認可定員を319人拡大を予定し、以後も施設整備に限ることのない多様な待機児童対策を進めます。

保育施設整備計画・定員拡大(予定)

【令和2年度】定員319人増()内は定員	
4月開設	遍照広尾保育園(108人) ポビンスナーサリースクール恵比寿南(130人) 西原ほほえみ保育園(63人)
10月開設	ぬくもりのおうち保育 神宮園(18人)

教育 ICT教育の推進

平成29年9月から1人1台配布しているタブレット端末について、3年経過する本年9月に機器の更新を行うとともに、校内LANを整備して活用環境の向上を図ります。また、教務支援ソフトの改善等によって教職員の事務時間を縮減し、ワークライフバランス改善を進めます。



高齢者福祉 特養ホーム等の整備

神南一丁目の「渋谷区高齢者ケアセンター」の跡地に特別養護老人ホームを中心とした複合施設(2021年5月竣工)、恵比寿西二丁目に区営住宅・高齢者福祉施設・障がい者福祉施設・保育園を併設した複合施設(2021年3月より順次開設)を整備します。

高齢者ケアセンター跡地複合施設(仮称)

- 特別養護老人ホーム(定員/ユニット型84床)
- デイサービス(定員/一般デイ:35人、通所型サービスA:20人、認知症対応型デイ:12人)
- 地域包括支援センター
- 介護予防事業・多目的ホール ●福祉事務所

高齢者福祉 介護人材の確保

介護職員の住宅費負担を軽減し、働きやすい職場環境を実現することで介護人材の確保・定着を図るとともに、災害時の迅速な対応を推進します。また、外国人人材に係る雇用促進と能力向上を目的とした研修を実施します。

介護職員宿舎 借り上げ支援事業	①区内所在の地域密着型サービスを提供する事業所 ②区の指定管理者等により運営される事業所 助成基準額(宿舎一戸当たり)月額58,000円 助成率7/8
外国人介護人材 育成・管理者研修	①外国人介護職員向け研修 ②外国人介護職員受入管理者向け研修

街づくり 宮下公園のオープン

都市機能(公園と駐車場)と商業施設、ホテルが一体となった新たな宮下公園が6月にオープンします。約1,000㎡の芝生ひろば、ボルダリングウォールとスケート場に加え、多目的運動施設としてサンドコートを整備し、多様な種類のスポーツや健康づくりが楽しめます。



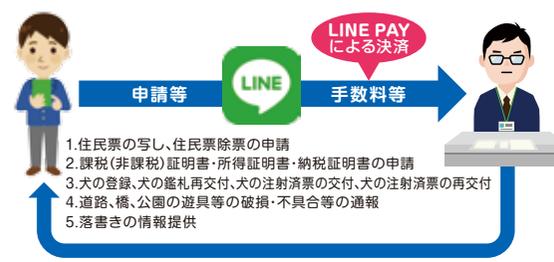
東京2020 おもてなしとレガシー事業

来街者に向けた「おもてなしスポット事業」を区内3か所で実施するとともに、パラリンピック開催期間には宮下公園で大型スクリーンでの競技中継を行います。また、大会終了後もパラスポーツを根付かせるため、車いすラグビー・パラバドミントン・ボッチャの区長杯を開催します。



区民サービス LINEを活用した申請

区役所窓口に出かけることなく、24時間365日、自宅や外出先など、場所や時間を問わずに手続きができる非来庁型サービスを推進します。



財政 ふるさと納税の活用

渋谷区で約23億円の減収要因となっているふるさと納税に関して、本年度より渋谷区の特徴を活かした返礼品を開発し、寄附受付を開始します。宿泊体験やレストラン等、体験型の返礼品を用意し、産業、観光の一層の活性化を図ります。



返礼品の提供イメージ

渋谷区議会議員 松本翔は、バランスのとれた施策を実現します